



日本代表チーム
表示灯ホッケーチームがやって来た

第1回 ホッケーフェスティバル in 奥出雲



▲ 表示灯の選手から指導を受ける子供たち

初日は三成公園人工芝ホッケー場において小中学生を対象としたホッケークリニックが行われました。町内から約百六十名の小学生が四つのコートに分かれ指導を受け、普段の練習方法とは違う新しい練習に子供たち

日本代表選手によるホッケークリニック

多くの日本代表選手が在籍する国内ナンバーワンの「表示灯ホッケーチーム」（愛知県）を招いての第一回ホッケーフェスティバル in 奥出雲が九月十日、十一日の両日行われました。このフェスティバルは今年度、ホッケーの最高峰「日本リーグ」に新規加盟を果たした島根クラブが主催をしたもので、ホッケーの町「奥出雲町」でホッケーの楽しさ、面白さを地域の方に向けて頂き一層ホッケーを盛り上げていくと開催されました。

日本代表キャプテンを務める小澤和幸選手からは「全国でクリニックをしています。奥出雲町の子供たちは基本技術がしっかりできていてまた教えたことを身につけるのも早く驚いています。これからもホッケーを楽しんで各世代で全国大会を目指して下さい。そしてこの町からも日本代表選手がもつと出るように願っています」、同じく日本代表選手の古里竜二選手からは「施設がとても充実していてびっくりしました。奥出

雲町はホッケーの層が厚く、特に子供たちは、素直に指導を聞いてくれて、技術も間違いなくトップレベル」と感想の言葉がありました。

表示灯ホッケーチームとのドリームマッチ

クリニックの合間と二日目には、地元仁多中学校、横田高校、島根クラブとのドリームマッチも行われました。

この中で今年の全国大会初優勝を果たした仁多中はセツトプレーから得点を挙げるなど大健闘しました。

試合終了後はサイン会が行われ、子供から大人まで多くの方がサインを求め、列を作りました。

奥出雲町では昭和五十七年のくにびき国体以降、ホッケーの振興と普及に取り組んできました。約三十年の普及の結果、今では小学生から一般まで全国レベルを誇り、各種の大会で上位入賞を果たしています。今回のフェスティバルでは、日本代表選手のプレーを自分の目で見て、体感でき、子供から大人まで今までにない貴重な機会となりました。